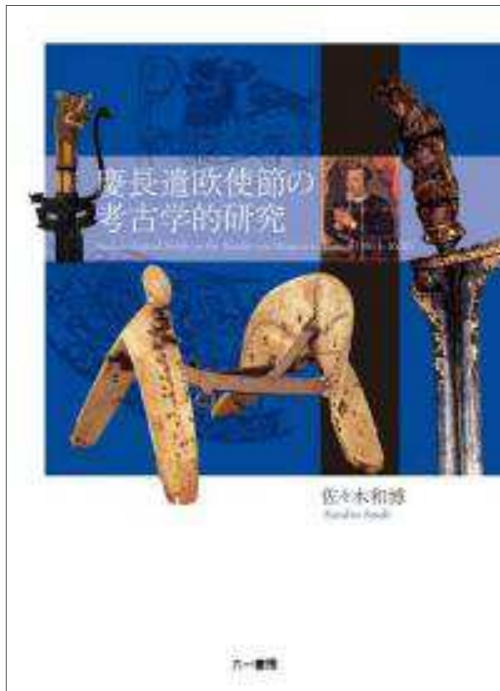


慶長遣欧使節の考古学的研究



書籍番号 70475

佐々木和博著

2013 年 10 月 B5 345 頁

六一書房 **¥11,340**

ISBN 978-4-86445-034-8

《内容紹介》

慶長遣欧使節 モノからのアプローチ

国宝・慶長遣欧使節関係資料 47 点はすべて同使節の将来品とされている。しかし世界記憶遺産に登録されたのは「支倉常長像」を含む 3 点だけで、残りの 44 点は除外された。基礎的な研究を欠く品々が多く含まれ、使節との関係が不明であるためであろう。

本書は上記 44 点に含まれる馬具と刀剣の研究成果をまとめたものである。まずそれぞれの年代と地域の把握を試みた。その結果、使節のルート外の製品や国産品が含まれていることが判明した。つまり 47 点の中には使節の将来品ではないものも含まれていたのである。したがって 47 点は使節との関係を基軸としつつもそれに拘泥することなく考察することが必要となった。

また本書では維新後、使節が周知されるようになった過程を丹念に追い、その解明に積極的に関わった明治新政府の意図を探った。

《目次》

序 章

第 1 節 1600 年前後の日本を取り巻く国際環境

第 2 節 慶長遣欧使節

第 3 節 慶長遣欧使節の研究

第 1 部 慶長遣欧使節に対する認識過程の研究

第 1 章 江戸時代における慶長遣欧使節の認識

第 1 節 日本における慶長遣欧使節の認識

第 2 節 欧米における慶長遣欧使節の認識

第 2 章 明治時代前期・中期における慶長遣欧使節の認識

第 1 節 廃藩置県と慶長遣欧使節関係品

- 第2節 岩倉使節団とヴェネツィアの支倉常長文書
- 第3節 明治9年の宮城博覧会と明治天皇の東北巡幸
- 第4節 明治新政府による慶長遣欧使節の主導的研究
- 第5節 明治新政府の広報外交と慶長遣欧使節
- 第6節 国内における慶長遣欧使節関係品の全容周知
- 第7節 国外所在の慶長遣欧使節関連資料の調査と収集

第2部 慶長遣欧使節関係資料の考古学的研究

第1章 慶長遣欧使節関係資料の研究史的検討

- 第1節 慶長遣欧使節関係資料の構成と藩政期における保管
- 第2節 慶長遣欧使節関係資料に関する研究史の考古学的検証

第2章 慶長遣欧使節関係資料における刀剣の基礎的理解

- 第1節 慶長遣欧使節関係資料における刀剣
- 第2節 仙台カスターネの基礎的理解
- 第3節 仙台クリスの基礎的理解

第3章 慶長遣欧使節関係資料における馬具の基礎的理解

- 第1節 慶長遣欧使節関係資料における馬具
- 第2節 鞍の基礎的理解
- 第3節 鐙の基礎的理解
- 第4節 馬銜の基礎的理解
- 第5節 野沓の基礎的理解
- 第6節 四方手の基礎的理解

第4章 慶長遣欧使節関係資料の歴史的位置

- 第1節 慶長遣欧使節関係資料の時間的・空間的位置
- 第2節 慶長遣欧使節の将来品と非将来品

第5章 慶長遣欧使節関係資料の歴史的意義

- 第1節 慶長遣欧使節将来品の歴史的意義
- 第2節 慶長遣欧使節非将来品の背景とその歴史的意義

第3部 慶長遣欧使節関連資料の考古学的研究

第1章 瑞鳳殿出土の欧州系副葬品

- 第1節 瑞鳳殿の発掘と特徴的な副葬品
- 第2節 欧州系銀製品
- 第3節 欧州系金製品
- 第4節 副葬品の構成と欧州系製品の副葬意図

第2章 宮城県大和町西風の五輪塔

- 第1節 現状と年代
- 第2節 西風五輪塔の所在地と支倉常成の関係
- 第3節 遣欧使節の選任過程と支倉常長の新知行地
- 第4節 支倉常長墓=西風五輪塔の可能性と先行説の問題点